

幼稚園教育実習Ⅱ指導を通じた鹿児島県内幼稚園の特色 および学生の目標達成に関する調査研究

Research on the Characteristics of Kindergartens in Kagoshima and the
Achievement of Students Goals through Kindergarten Practical Training

佐藤慶治・内田豊海・井上周一郎
Keiji Sato, Toyomi Uchida, Shuichiro Inoue

鹿児島女子短期大学

本研究においては、令和3年度および令和4年度における幼稚園教育実習Ⅱ指導の授業を通じて、鹿児島県内の各幼稚園の特色と、それに関連した学生の実習目標の達成度に関する調査を行った。この調査を通じての目的は、鹿児島県内の幼稚園における実習の実態を明らかにし、更に学生の実習目標の達成度調査の分析より、今後の実習指導において、どのような事前指導を行っておくことが望ましいかを検討することである。研究組織のメンバーは、令和3年度および令和4年度における幼稚園教育実習Ⅱ指導の担当メンバーである。アンケートは6月の実習後の事後指導において行う。アンケートにおいては、園の特色（モンテッソーリや宗教系、公文式や七田等の教育特色や、実習の進め方）に関する部分と、学生の実習目標がどれだけ達成できたかを問う部分を作っており、それぞれの項目に関連させた形で、テキストマイニング等も活用した分析を行った。

Key words：幼稚園実習、園の特色、学生の目標

kindergarten practical training, the characteristics of kindergartens, student goals

1. 本研究の概要について

本研究においては、鹿児島女子短期大学児童教育学科令和3年度および令和4年度における「幼稚園教育実習Ⅱ指導」の授業を通じて、鹿児島県内の幼稚園の特色と、それに関連した学生の実習目標の達成度に関する調査を行った。この調査を通じての目的は、鹿児島県内の幼稚園における実習の実態を明らかにし、更に学生の実習目標の達成度調査の分析より、今後の実習指導において、どのような事前指導を行っておくことが望ましいかを検討することである。本論文執筆メンバーは、令和3年度および令和4年度における幼稚園教育実習Ⅱ指導の担当メンバーと同じである。

本研究においては、令和3年度（実習日程：令和3年6月7日（月）～6月18日（金）：合計10日間）および令和4年度（実習日程：令和4年6月6日（月）～6月17日（金）：合計10日間）における幼稚園教育実習Ⅱを受講した学生に対して、実習指導の授業内において、学生へのアンケート調査を実施した。令和3年度においては実習生数147名（うち、科目等履修生5名）のうち、140名より有効回答を得ている。そのうちの1名は宮崎県での実習であっ

たため除き、139名分の分析を行った。また令和4年度においては実習生135名（うち、科目等履修生5名、令和2年入学生1名）のうち、131件の有効回答を得ている。そのうちの3名は宮崎県での実習であったため除き、128名の分析を行った。よって、分析対象は2か年度合計で267名であり、分析にあたっては個人名も園名も匿名を基本とする。また、アンケートを研究調査に使用することについて、実習生には授業内で許可を得ている。

アンケート調査は6月の実習後の事後指導において行った。アンケートにおいては、園の特色（モンテッソーリや宗教系、公文式や七田等の教育特色や、実習の進め方）に関する部分と、学生の実習目標がどれだけ達成できたかを問う部分を作っており、それぞれの項目に関連させた形で、テキストマイニング等も活用した分析を行う。本来、令和4年度に園への実地調査も行う予定であったが、当該年度もコロナウイルスの流行がおさまらなかったため、行っていない。

幼稚園実習を対象とした調査研究において、学生の満足度調査や実施した設定保育に関する調査などの分析は多くあるが、園の特色と関連させた研究はほとんど行われてい

ない。小学校以降の教育課程と違い、幼稚園は各園において、それぞれ行われている教育方法に種々の差異がある。例えばそれは、音楽活動で使用される楽曲や運動遊びで使用される教具、また子どもたちの一日の過ごし方等にもみられるものである。この差異をしっかりと把握し、更には学生の実習目標の達成度調査の分析等からそれぞれに合った事前の実習指導を検討することによって、今後の実習指導における必要な事前指導を構築していくことができるであろう。

2. アンケートについて

本幼稚園実習Ⅱにおいて、学生たちは自分で選択した鹿児島県内各園で実習を行っている。前提として、2年次6月に実施される実習であるが、学生たちは1年次に本学附属幼稚園で実施される幼稚園実習Ⅰおよび、自分で選択した各園での保育実習Ⅰを終えている状況である。

本幼稚園実習Ⅱの事後指導で行ったアンケートについては、「実習の振り返り」として学生たちにグーグルフォームで記入をさせ、実際に実習指導の成績算出においても参考資料として用いた（よって本研究で用いない項目もある）。項目は以下の通りである。

1. 実習園について

- ①園名
- ②園児数およびクラス数
- ③担当クラスの園児数
- ④設置主体について
- ⑤特定の宗教や教育思想を取り入れていましたか？
- ⑥取りいれていると回答した方へ：保育の中でどのような関連の活動がありましたか？
- ⑦次のような教育を取り入れていましたか？（公文、七田式、EDA、ICE、SI、その他）
- ⑧園児の送迎バスに乗車しましたか？
- ⑨実習園独自の保育として、計画的に取り入れている内容が下記の中にありますか？
（スポーツ（水泳、サッカー、体操など）、器楽（太鼓、マーチングなど）、外国語、コンピューター、芸術（造形、絵画など）、お預かり（延長保育）、未就園児のクラス（親子遊び・2歳児プレ幼稚園など）、専門講師による特別保育）
- ⑩ピアノについて（何を何曲くらい弾いたか）
- ⑪絵本、紙芝居、パネルシアター、ペープサートなどについて（何を何回くらい行ったか）

⑬粘土、砂遊び、泥遊び、プール（水遊び）について（園ではどのような活動があったか）

⑭実習期間中の行事について（あったか？ 何があったか？）

⑮壁面構成はどうだったか？

⑯プレゼントについて（何をどのくらい準備したか？）

2. 勤務について：

①出勤時間は何時でしたか？

②出勤時間はどのように決められていましたか？

（自分の判断で、園からの指示で、その他）

③退園時間は通常何時頃でしたか？

④退園時間はどのように決められていましたか？

（自分の判断で、園から決められていた、他の先生の様子をみて、毎日、指導の先生の指示で）

3. 実習の反省と振り返り：

①評価保育など主に関わったクラスは何歳児クラスでしたか（年少、年中、年長）？

②そのクラスはどのように決めましたか？

（自分の希望で、園の指示で、その他）

④実習方法（観察、参加、担当保育の日数や方法、配属クラス、担当者など）について、振り返って書きましょう

⑤作成した指導案の回数をそれぞれ教えてください：部分保育

⑤作成した指導案の回数をそれぞれ教えてください：全日保育

⑥作成した指導案の回数をそれぞれ教えてください：評価保育

⑦指導案を書かないで担当実習（その時間を任される）をすることがありましたか？

⑧ある場合は、何回ありましたか？

⑨実習を終えて、幼稚園に就職したい気持ちに変化しましたか？

（減少した、変わらない〔就職したい〕、変わらない〔就職したくない〕、強くなった、迷いが出てきた）

⑩「減少した」「強くなった」「迷いが出てきた」という人は、その理由を書いてください。

⑪実習を終えて、自分の立てた学習目標はどの程度達成できたか（3段階）？

⑫事前に準備しておいて良かったことは何ですか？

⑬準備不足で反省したことは何ですか？

⑭就職のことについて、実習園の先生から何か尋ねられたことがありますか？

⑮ある場合は何を尋ねられましたか？

4. 実習の実際：

①幼稚園教育実習Ⅱの目標（大きな目標）は何でしたか？

②10日間の実習目標：1日目～10日目

③事前訪問について（必ず確認した方がよいこと）

④事前訪問で、実際の実習の役に立ったことは何でしたか？

⑤10日間の実習計画：1日目～10日目

5. 実習の良かった点・反省点 勉強になったこと、失敗したことなど、実習を一日の流れに沿って反省してください。また、部分実習や担当実習などについて何を行い、どんな注意を払い、どのような結果であったかも書いてください：

①登園時

②自由な遊びの時間

③定保育時

④昼食・お弁当の時間

⑤午後の自由な時間

⑥降園前の活動及び降園時

⑦部分実習について

⑧担当実習・全日実習

⑨降園して子どもがいなくなった後の実習生の作業内容

⑩後輩へ伝えたいこと

6. 実習全体としての満足度合はどうでしたか（5段階）？

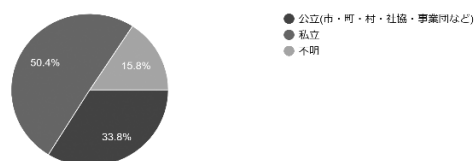
3. アンケートにみる鹿児島県内幼稚園の特色

本節では前節で項目を示したアンケートのうち、鹿児島県内幼稚園の特色に関する部分について検討する。そもそも本幼稚園実習Ⅱにおいては、令和3年度に鹿児島県内134園（うち、鹿児島市内50園）と県外5園、および令和4年度は鹿児島県内134園（うち、鹿児島市内50園）と県外5園のご協力を頂き、学生の実習を行った。期間について、体調不良等の都合で7月まで実習期間が延期となった学生もいたものの、ほとんどの学生は既定の期間に実習を終えている。

園実数について、令和3年度は最小6名から最大411人、

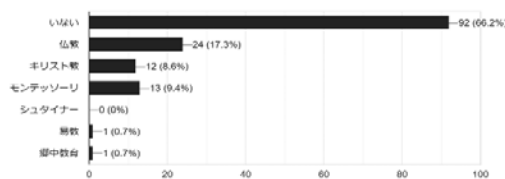
令和4年度は最小7人から最大400人以上と幅がある。ボリュームゾーンは100～200名台である。担当クラスの人数は設置基準もあるため、最大でも35名であるが、最小人数については7名や8名の園も存在する。設置主体および特定の宗教の取り入れについては下記のグラフの通りである。

設置主体について
139件の回答



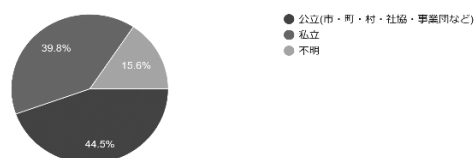
(図1 令和3年度：1-④)

特定の宗教や教育思想を取り入れていましたか？
139件の回答



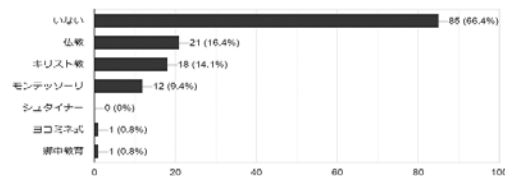
(図2 令和3年度：1-⑤)

設置主体について
128件の回答



(図3 令和4年度：1-④)

特定の宗教や教育思想を取り入れていましたか？
128件の回答

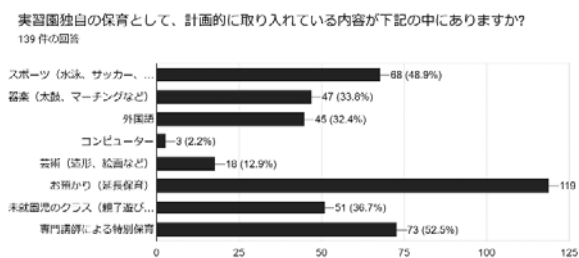


(図4 令和4年度：1-⑤)

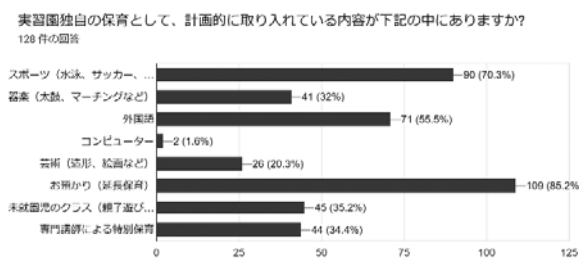
本幼稚園実習Ⅱにおいては、鹿児島県内幼稚園のうち令和3年度が33.8パーセントおよび令和4年度が44.5パーセントと、かなりの割合で公立の設置母体による幼稚園での実習が行われた。一般的に、公立幼稚園より私立幼稚園の方が、園毎の特色が大きくなる傾向があるようだ。「特定

の宗教や教育を取り入れていましたか」という質問について、令和3年度では51件、令和4年度では53件の回答において何らかの特色があるという回答がみられたが、そのうち公立幼稚園は令和3年度が3件、令和4年度が9件のみである。また「取りいれていると回答した方へ：保育の中でどのような関連の活動がありましたか」という質問については、キリスト教系の園での礼拝活動、仏教系の園での仏参活動・仏様への挨拶という回答が多くみられた。

アンケート項目1-⑦については、令和3年度において公文式11件、SIあそび7件、ちえのみあそび2件等、また令和4年度においては公文式11件、SIあそび11件、英語あそび4件等がみられた。園児の送迎バスについては、両年度ともおよそ80パーセントの学生が乗車したと回答している。「実習園独自の保育として、計画的に取り入れている内容が下記の中にありますか」という質問については、以下のグラフのような回答を得ている。



(図5 令和3年度：1-⑨)



(図6 令和4年度：1-⑨)

これらの結果より、鹿児島県内の幼稚園では、教育思想にまで絡む教育的な特色を取り入れている園の割合は40パーセント程度と必ずしも多くはないものの、1-⑨の回答にみられるように、スポーツ（水泳、サッカー、体操など）や器楽（太鼓、マーチングなど）、外国語、専門講師による特別保育などは、かなりの割合の園で取り入れられている特別活動であることがわかる。現在の実習指導においては、各園で行われているこれらの特別保育についての

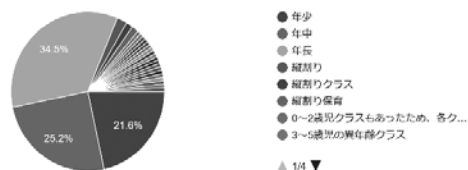
指導まで行うことをしていないが、学生がこれらの特別保育についても参加を求められる園も多くあるため、それらの園の情報をまとめた上で、そのような園に実習に行く学生へ、何らかのフィードバックを行っていくことが必要になると考える。

また、延長保育（お預かり保育）については、両年度とも、85パーセント程度の学生が実習園で行われていたと回答している。幼稚園実習ではあるものの、待機児童数の増加等に伴い、今後もこの傾向は増えてくると考えられるため、学生の事前実習指導において保育的な視点を取り入れていく必要性もあると考えられる。

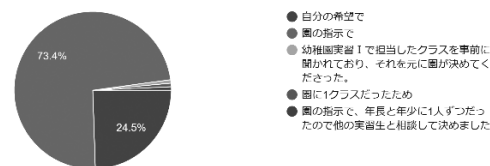
アンケート項目1-⑩や1-⑪より、ピアノや絵本については園の特色と関係なく、どの園でも行われている様子うかがえる。ただし、ピアノの曲目について、仏教やキリスト教など、宗教系の幼稚園については、その宗教に関する楽曲がピアノの課題曲として出題されたと回答する学生が複数存在する。その他、季節の歌や、「お帰りの歌」「さよならの歌」等の生活の歌については、園の特色に関わらず、多くの園で使用されていたようだ。

4. 評価保育・担当実習について

幼稚園実習における学生評価の要ともいえる評価保育・担当実習について、「評価保育など主に関わったクラスは何歳児クラスでしたか」という質問およびそのクラスの選定方法、指導案に関する質問では、以下に示す6つのグラフの通りに回答されている。

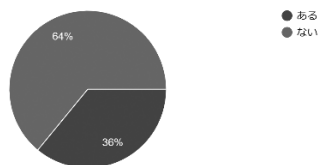
3. 実習の反省と振り返り：評価保育など主に関わったクラスは何歳児クラスでしたか？
139件の回答


(図7 令和3年度：3-①)

そのクラスはどのように決めましたか？
139件の回答


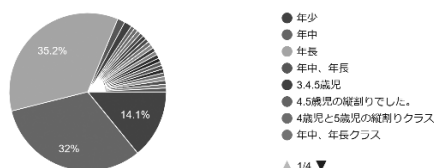
(図8 令和3年度：3-②)

指導案を書かないで担当実習（その時間を任される）をすることがありましたか？
139 件の回答



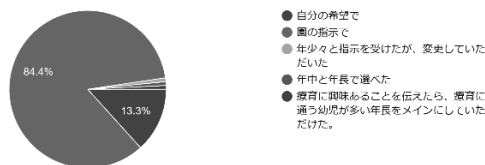
(図9 令和3年度：3-⑦)

3. 実習の反省と振り返り：評価保育など主に関わったクラスは何歳児クラスでしたか？
128 件の回答



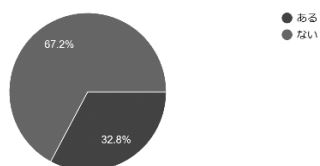
(図10 令和4年度：3-①)

そのクラスはどのように決めましたか？
128 件の回答



(図11 令和4年度：3-②)

指導案を書かないで担当実習（その時間を任される）をすることがありましたか？
128 件の回答



(図12 令和4年度：3-⑦)

クラスの選定についてはどちらの年度でも園からの指示を頂いた学生が多かったようである。ただし、自分で希望するクラスでの担当保育を行うことができた学生も両年度で四分の一程度、回答しており、実習の事前相談等において、まずはその点を確認してみることが必要と考える。

また指導案については、担当実習を行ったうちの60パーセント強のみが指導案を書いた担当となっており、30パーセント強の担当実習においては、指導案を書かずに行っていることがわかった。これについて、実習指導においては主に指導案を用いて（作成して）の担当保育を想定

した指導をしているが、今後は指導案を書かないでの担当実習を想定した指導も行っていくことの必要性がみえる。また、その内容については、絵本読み等も含まれるが、多い園では実習期間中に5回～10回の担当実習が実施されている。そのような担当実習を即興で実践するという点に関しては、学生の基礎的な保育力を2年次6月までに向上させるということも必要となってくるため、今後の学科全体としての取り組みが求められる。

5. アンケートにみる学生の目標達成率と相關

アンケート4-①における「幼稚園教育実習Ⅱの目標（大きな目標）は何でしたか」という質問について、自由記述ではあるが、テキストマイニングを用いての分析を行ったところ、以下の用語が上位としてあがった（子ども、保育、子どもたち等の頻出用語は削除済み）。

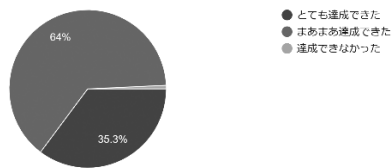
(表1)

(令和3年度) 単語	回数	(令和4年度) 単語	回数
理解	112	援助	42
援助	61	先生	35
掛け（声、言葉）	60	積極的	33
言葉	54	掛け（声、言葉）	33
担当	43	言葉	29
保育者	38	クラス	28
実践	38	一人ひとり	24
年齢	38	個性	23
発達	36	活動	22
先生	34	関わり	20
幼児	31	理解	20
実習	30	仕方	17
技術	29	全体	16
動き	29	観察	15
個人差	27	声	15
遊び	25	気持ち	15

この結果より、学生の目標とするところについては、保育全般や子どもの発達・個人差・個性、技術等について理解を深め、子どもたちと関わり、遊びや言葉かけ、担当実習を積極的に行っていくことといえるだろう。

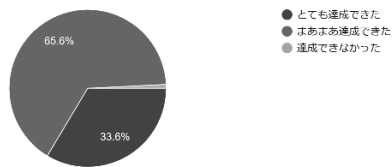
このような目標であるが、達成度は以下のグラフの通りである。

実習を終えて、自分の立てた学習目標はどの程度達成できたか？
139 件の回答



(図13 令和3年度：3-⑪)

実習を終えて、自分の立てた学習目標はどの程度達成できたか？
128 件の回答



(図14 令和4年度：3-⑪)

この回答より、両年度とも1名の学生以外は「とても達成できた」「まあまあ達成できた」ということで、自分の実践の達成についての満足度が高いことがわかる。各年度1名ずつ回答のあった「達成できなかった」については、令和3年度が子どもたちへのプレゼントを実習前に作り終わらなかったから、令和4年度が設定保育の準備物を事前に準備できていなかった等、実習前の事前準備の不足に起因するところが大きかったようだ。実習指導でも事前準備の重要性をしっかりと指導していくことが必要と考えるが、これに関連して、学生にも「事前に準備しておいて良かったことは何ですか」という質問を行っている。回答についてテキストマイニングを行ったところ、以下のような事柄が上位となった（保育、準備、事前等の単語は削除済み）。

(表2)

(令和3年度) 単語	回数	(令和4年度) 単語	回数
プレゼント	88	プレゼント	58
ピアノ	53	案	44
案	48	ピアノ	43
指導	41	指導	40
絵本	35	絵本	27
担当	27	担当	25
作成	17	作成	15
作り	17	指	13
指	17	遊び	13

遊び	17	ネーム	12
評価	16	用意	12
手遊び	15	研究	10

また逆に、「準備不足で反省したことは何ですか」という質問においては、以下のような回答が上位となった（保育、準備、事前等の単語は削除済み）。

(表3)

(令和3年度) 単語	回数	(令和4年度) 単語	回数
案	41	ピアノ	32
ピアノ	29	案	22
指導	28	指導	18
教材研究	18	教材研究	11
担当	18	手遊び	9
絵本	14	レパートリー	9
評価	13	指遊び	9
作成	12	担当	8
実習	11	物	8
手遊び	10	設定保育	7
レパートリー	10	研究	7
物	10	子ども	7
幼児	9	プレゼント	7
研究	8	発達	5
シュミレーション	7	製作	5
制作	7	絵本	5

これらの結果より、学生が自分の目標を達成するためには、子どもたちへのプレゼントや設定保育における準備物の作成を実習開始前にしっかりと終わらせておくことが必須であるといえる。またピアノや絵本読み、手遊びの練習など、技術的な部分の事前練習も時間を取って行うことが必要と考えている学生が多いこともわかった。

案や教材研究やシュミレーションについては、設定保育および担当実習に関連する回答でみられる単語である。このあたりの指導について、今後の幼稚園実習ではその必要性を更に学生に伝えていくとともに、より個別的な指導も必要になってくると考える。

6. 考察のまとめ

以上、本研究では令和3年度および令和4年度における

幼稚園教育実習Ⅱ指導の授業を通じて、鹿児島県内の各幼稚園の特色と、それに関連した学生の実習目標の達成度に関する調査を行った。研究を通じての目的は、鹿児島県内の幼稚園における実習の実態を明らかにし、更に学生の実習目標の達成度調査の分析より、今後の実習指導において、どのような事前指導を行っておくことが望ましいかを検討することであったが、今回の調査により、これまでの事前指導でも必要とされていた事項をより実証的に学生アンケートより導き出した部分と、更には今回のアンケートを通じてはじめて必要性が判明した部分とがある。

これまででも必要性が言われていたこととしては、製作物を実習前にしっかりと作り終えておくことや、ピアノ・絵本の練習を事前に行っておくこと、自分の希望するクラスでの担当保育ができるわけではないため、指導案については複数の年齢を対象としたものを準備しておくことなどである。また園の特色について、宗教教育やモンテッソーリ教育、公文式等の特色を持つ園については情報をおさえられていた部分が多い。

今回、新たに判明したこととしては、まずスポーツ（水泳、サッカー、体操など）や器楽（太鼓、マーチングなど）、外国語、専門講師による特別保育などの特別活動が、かなりの割合の園で取り入れられてきているということである。また、実習生にもこれらへの参加（見学）を求める園が多いということで、鹿児島県内の園一覧情報等にこれらの情報を付記し、事前の実習指導の段階において、学生にこれらの特別保育について自信での調べ学習を徹底して行わせることも必要と考える。このような事前準備を徹底することで、学生が自信をもって実習に臨むことができ、また期間中も余裕をもって過ごすことが出来るだろう。

絵本読みや、手遊び等の実践については、指導案等なく、学生に即興での実践を求める園が多いこともわかった。これについては学生に情報として実習指導の中で伝えることにより、絵本読みや手遊びの自主的なレポトリー増加を促し、またその発表の時間等も実習指導の中で取り入れることによって、学生の基礎的な保育力を向上させていく取り組みにもつなげたいと考える。

アンケートの最後に、「後輩へ伝えたいこと」という項目を設けたが、ここでは学生が自分の実習で必要だったこと、違う形でやっておけばよかったと思うことなどを自由記述している。そこにおける回答としては「事前に設定保育の指導案やピアノなどの準備をしっかり行い、分からないことがあったらすぐに先生方に聞いたり、積極的に質問や相談をしていくことも大切だと感じた」や「準備物は、

何が必要かなど細かく事前に聞いておくの良い」、「指遊び・絵本・紙芝居は、とても好評なのでレポトリーを増やしておくの良い」や「研究保育は実習前に決めていた方が準備や指導案など実習中にすることが減るので前もってできることはしておいたほうがよい。特に部分保育の指導案はかけると思うから書いておいた方がよい」など、事前準備の大切さを強調する学生が多かった。

今回のアンケートで得ることのできた結果や上記の学生による自由記述は、「先輩たちの体験」として、次年度以降の受講生にフィードバックを行い、学生たちがより達成感や満足度を感じることでできる幼稚園実習へとつなげていきたい。

主要な参考文献

- ・百瀬ユカリ『よくわかる幼稚園実習』（創成社、2021）
- ・永野典詞、香崎智郁代「幼稚園教育実習における学生の学びに関する意識調査」『心理・教育・福祉研究：紀要論文集21』（九州ルーテル学院大学人文学部心理臨床学科、2021）pp.1-12.

（2022年12月22日 受領／2023年1月12日 受理）